

事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和6年3月29日

事業所名 めぶき

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1	0	児発と放デイの使い分け 集団と個別の使い分け	
	② 職員の配置数は適切である	3	1	2		人材の確保と研修の充実
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	3	2	可視化された掲示物	玄関を中心に、バリアフリー化を検討していきたい。
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	0	0		
	⑤ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	0		
	⑥ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している	0	1	5		今年度開所のため、次年度から公開していく
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	1	5		実地指導などをご指導いただいたことも含め、外部評価の機会を増やしていく
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	HUGの研修参加、外部研修内容の情報提供の場を設ける	外部研修、オンライン研修の視聴、講師を呼んでの研修など、さらに研修の機会を増やしていく
適切な支援	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	0	職員と保護者で話し合いの上考えている	
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	0		
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	0		
	⑫ 活動プログラムが固定化されないよう工夫されている	6	0	0		
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	0		
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成している	6	0	0		

の提供	⑮	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0	朝礼に代わり、昼礼を行う	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2	0	・行事の際も支援が必要な児童の確認を行っている ・毎日の業務内容を確認している	終礼を行えないため、HUGへの書き込み等を含めて確認を怠らないようにしていく
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	0	HUG等でヒヤリハットなどの記録も行い、情報交換している	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0		
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	6	0	0		
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画している	6	0	0		
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	0		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当なし	
	㉓	就学前に利用していた保育所、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1	1		
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか				該当なし	
	㉕	児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0	3	3		積極的に研修に参加するとともに助言を依頼する
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流、障害のない子どもと活動する機会がある	5	1	0	お散歩や振替休日などでかかわっている	まだまだ機会が少ないため、増やしていく
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	3	3		
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	1	0		
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	2	1		
㉚	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1	2		説明内容について職員向け研修を改めて行う	

関係機関や保護者との連携

保護者への説明責任等	③①	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0		
	③②	父母の会の活動をしたり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	0		
	③③	子どもや保護者からの相談や申し入れ、苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0		
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の除法を子どもや保護者に発信している	6	0	0	めぶきだよりの発行、イベント時のお手紙などで対応している	
	③⑤	個人情報の取り扱いに十分注意している	6	0	0	写真掲載に配慮している	
	③⑥	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	研修の実施	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	2	1		夏祭り等に地域の人を招待することも視野に入れていきたい
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練が実施している	5	1	0		・研修等で確認を徹底していきたい ・保護者にも広く知らせていきたい
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っている	5	1	0	避難訓練を複数回行っている	備蓄品の補充と管理をしっかり行いたい
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0		
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している				該当なし(身体拘束適正化委員会は実施予定)	
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2	0		・常に気を付けていきたい ・アレルギー表を作成、共有する
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	0		ヒヤリハットについてその都度確認、共有していく